

みんなと一緒に!!



足羽利生苑では月に1,2回の日曜日にデイサービスのホールで『ホッとカフェあすわ』というサロンを実施しています。施設に入居しても地域の一員として生活を送るために始まったもので、苑に入居している方と、地域の方が一緒にレクリエーションを通じて交流を行っています。

今回はそのサロンで行っている内容や様子についてご紹介します。



歌を歌っています

「ホッとカフェあすわ」とは?

このサロン活動は、入居されている方が足羽利生苑へリハビリをしにいらつしやる地域の方と交流することを目的として、平成27年から始まったものです。平成28年から本格的に活動するようになり、今年で2年目になります。ホールには地域の方が毎回10数名集まっています、その中に入居者の方が2,3名参

加しています。なじみの人と顔を合わせる機会を設けることで、入居者の方にとって良い気分転換になっています。

久しぶりに会えた!

同じ町内だった地域の方から「あらー、〇〇さん。久しぶりやね、元気やったか?」、「覚えてるか?」などの声が聞こえてきました。近所だった方と再会して思い出話に花が咲いていました。

入居すると家族以外の方と会う機会が少ないので、話しかけられると笑顔になつて頷いていたのが印象的でした。久しぶりに話せて懐かしい気持ちになれたと思います。また高齢の入居者の方が「元氣やのー」と声をかけられている様子も見られました。

今日は
何を
する
のかな？

サロンで行うレクリエーションの内容は、毎回職員が考えています。みなさんに手軽で楽しんでいただけるものを、と考えて準備しています。

今まで実施したレクリエーションの内容の一部として、歌詞カードを配って音楽を流さずに歌ったり、リハビリ体操で手足を動かしたりしました。職員の動きを見ながら「1, 2, 3」と数えながら手足を上げます。そして体だけでなく頭を使う体操として後出しジャンケンも行い



座ってリハビリ体操

ました。負けるのはとても難しいようで「あれ？間違えてもうた」などとみんなで笑いながら楽しむ様子が見られました。

またクリスマスや正月など、その月の行事に合うものを折り紙で作りました。例えばクリスマスにはクリスマスリースを、バレンタインにはハート形の小物入れを作つて飴などのお菓子を入れました。入居者の方には少し難しかったかもしれませんが、完成すると地域の方から「もう

一度作つてみよう」という意欲的な声も聞かれました。職員や隣の人に聞きながら折り進めることで、自然にコミュニケーションがとれていました。



職員と一緒に折っています

参加者の声や様子をご紹介します！

地域の方

- ・「〇〇さん（入居者の方）に会えて話せたのでよかった」
- ・リハビリ体操をしていて「家ではこんなに足を動かさないから意外ときついわー」
- ・「家でも作ってみるわ」

入居者の方

- ・「気分転換になって楽しかった」
- ・活動している様子を見て「わからんけど面白いんやろうなー」
- ・「歌えるかな？」と不安そうだったが大きな声で歌うことができました
- ・歌う時間が終わっても一生懸命な歌声が続いていました



小物入れ



一生懸命作っています

手探りで「ホッとカフェ あすわ」を始めましたが、今では楽しみの場になっています。施設に入所することで、地域の方や友人等に会う機会も減ってしまいましたが、久しぶりにお互いが楽しそうに話している姿を見ると地域の方々も過ごし、その方のなじみの関係を継続する大切さを感じます。

「職員同士の協力体制」にも大きな変化が見られました。担当する2名で企画を行い、レクリエーションの実施後はそのときの良かった点・反省点を出し合い、翌月の担当者につなぐ方法を取っています。今後も職員同士で協力し合い、参加して楽しかった、と思っただけのようなサロンを実施していきます。

足羽利生苑

主任 松井 恵子